

平成 20 年度
学士学位論文

大学入学予定者の不安解消を目的とした
SNS の構築

Development of SNS that can provide relief for
matriculated people

1090341 竹内 雄人
指導教員 妻鳥 貴彦

高知工科大学 情報システム工学科

要 旨

大学入学予定者の不安解消を目的とした SNS の構築

竹内 雄人

大学への入学が決まっている高校生には大学生活への不安や疑問を抱えている場合が多い。例えば、大学の講義に関する不安や、寮など大学生活に関する疑問が挙げられる。このような不安や疑問を解消することで、高校生は安心して入学できるだけでなく、入学までのモチベーションを維持させることができる。現在、高校生から不安や疑問を相談する場所として、メール・電話で行う方法がある。しかし、この方法は入学前のため質問を送りづらいという問題がある。また、現在所属している高等学校の教員に聞く、掲示板などに相談するなどの方法もあるが、正しい情報を得ることができない場合が多い。そのため、高校生と大学関係者（教職員，在學生）間，高校生同士の情報交換から不安や疑問を解消する新しい環境を構築することは有効といえる。

本研究では本学合格者の不安や疑問を解消することを目的としたシステムを設計，構築する。その際，人間同士のコミュニケーションを補助することに特化した SNS(Social Networking Service) を利用してこの問題を解決することを提案し，システムの構築を行った。

構築後は実際に運用を行い，システムの有効性を確認した。

キーワード SNS 高校生 不安解消 入学前支援

Abstract

Development of SNS that can provide relief for matriculated people

Yuto TAKEUCHI

Many matriculated people have worries and questions to university life. For example, matriculated person has worry to lectures, questions to dormitory life and so on. By solving these worries and questions, the matriculated people can enter university with relief. Moreover, the matriculated people can motivate to enter university by solving these worries and questions. In the present, for solving worries and questions, the matriculated person can send e-mail to university, ask to high school teachers or post to BBS. However, it is difficult for matriculated people to take these solutions. Because the matriculated person is still external people of university, it is not easy to send e-mail. In addition, it is not always that high school teachers or BBS have correct answer for the question about the university. Therefore, it is necessary to provide the environment that can share university informations between the matriculated people and university insiders. Moreover, it is also necessary to share university informations between each matriculated people.

In this study, we develop the environment that can provide relief for matriculated people. As a method, we introduce SNS(Social Networking Service) into the university. SNS generally supports making human relations for each SNS user. This SNS has the function to share university informations for matriculated people.

Currently, we are serving this SNS to the matriculated people and university insider. As a SNS's log, we evaluated this SNS and conformed this SNS's effectiveness.

key words SNS, high school student, provide relief, support before matriculated people

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	研究の背景	2
2.1	不安や疑問を解消するために必要な環境	2
2.2	本研究の目的	3
第 3 章	SNS を用いた高校生と大学関係者の情報交換	4
3.1	SNS の利用	4
3.2	一般の SNS の機能	5
3.3	本研究の SNS	6
第 4 章	SNS の設計	7
4.1	システムに必要な機能	7
4.2	コミュニティ機能	7
4.3	日記機能	8
4.4	メッセージ機能	8
4.5	アンケート機能	8
第 5 章	SNS の概要	9
5.1	システムの構成	9
5.1.1	ホーム画面	9
5.1.2	日記画面	10
5.1.3	コミュニティ画面	11
第 6 章	運用する際の注意点	13
6.1	SNS を活発にする工夫	13

目次

6.1.1	名前に所属を付属させる	13
6.1.2	日記作成	14
6.1.3	コミュニティの種類	14
6.1.4	基本機能の使い方	15
6.2	トラブル防止	16
6.3	本研究の SNS の情報の正確性	17
第 7 章	評価	18
7.1	評価目的と評価環境	18
7.2	評価項目	18
7.3	利用状況の分析	19
7.3.1	利用状況	19
7.3.2	利用状況の考察	20
7.4	大学関係者への質問	20
7.4.1	本研究の SNS へ寄せられた質問	20
7.4.2	事務局に寄せられた質問	20
7.4.3	本研究の SNS への質問と事務局への質問の比較	21
7.5	大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応	23
7.5.1	合格者の反応	23
7.5.2	大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応の考察	25
7.6	合格者同士での意見交換の状態	26
7.6.1	合格者同士の交流	26
7.6.2	合格者同士での意見交換の状態の考察	27
7.7	評価のまとめ	28
第 8 章	おわりに	29

目次

謝辭

30

参考文献

31

目次

5.1	ホーム画面	10
5.2	日記画面	11
5.3	コミュニティ画面	12
6.1	プロフィールと写真の変更	16
7.1	本学大学生による日記	24
7.2	本学合格者による日記コメント	25
7.3	合格者同士の交流 1	26
7.4	合格者同士の交流 2	27

表目次

7.1	利用人数	19
7.2	利用状況	19
7.3	期間・質問者・質問総数の比較	21
7.4	入試関連に関する質問の比較	21
7.5	大学生活に関する質問の比較	22
7.6	学習に関する質問	22
7.7	寮生活に関する質問	22

第 1 章

はじめに

大学への入学が決まっている高校生には大学生活への不安や疑問を抱えている場合が多い。例えば、大学の講義に関する不安や、寮など大学生活に関する疑問が挙げられる。このような不安や疑問を解消することで、高校生は安心して入学できるだけでなく、入学までのモチベーションを維持させることができる。現在、高校生から不安や疑問を相談する場所として、メール・電話で行う方法がある。しかし、この方法は入学前のため質問を送りづらいという問題がある。また、現在所属している高等学校の教員に聞く、掲示板などに相談するなどの方法もあるが、正しい情報を得ることができない場合が多い。そのため、高校生と大学関係者（教職員、在学生）間の情報交換を補助する場を提供することは不安解消のためには有意義である。

そこで、本研究では本学合格者と本学関係者との情報交換に特化した SNS (Social Networking Service) の構築を行う。SNS とは、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのことであり、人間同士のコミュニケーションを補助する場である。本研究では、SNS を新たな人間関係の構築よりも、正しい情報交換の場として、不安や疑問を解消するために必要な機能を検討し、実装を行う。実装後は、実際に本学合格者と本学関係者を招待し運用を行っている。

第 2 章

研究の背景

2.1 不安や疑問を解消するために必要な環境

大学への入学が決まっている高校生は大学生活への不安や疑問を抱えている場合が多い。例えば、「大学の講義に付いていけるのか」、「大学に入学するまでに学んでおけばいいことがわからない」という不安や疑問を持っている。学習に関すること以外でも、「アルバイトと学習の両立はできるのか」、「同じ新生と仲良くなれるのか」といった寮や学生生活に関する不安や疑問も挙げられる。こういった不安は、高校生が大学生活を知らないことが原因と考えられる。そのため、大学生活に関する質問を行うなど大学生活を知ることができる環境を作る必要がある。

不安や疑問を解消するために必要な環境としては、「大学関係者（教職員，大学生）へ質問を行う」「大学関係者の大学生活体験を聞く」「高校生同士で意見交換をする」の3つがあげられる。

「大学関係者（教職員，大学生）へ質問を行う」では、大学生活を送っている大学関係者に質問をして回答してもらえ環境が必要である。さらに、すべての質問に対して特定の人物だけが答えるのではなく、その質問に一番理解ある人物が回答するのが望ましい。例えば、授業料に関する質問は職員、講義内容に関する質問は教員・学生、サークルに関する質問はそのサークルに所属する学生が答えるとより正しい情報となる。

「大学関係者の大学生活体験を聞く」では、高校生からの質問がなくても、実際に生活をしている大学関係者から正しい情報を伝える環境があれば、不安や疑問の解消にも繋がる。講義紹介や普段の生活の紹介の他、大学に入学して変わったことなどを大学関係者から発信

2.2 本研究の目的

する。

「高校生同士で意見交換をする」では、入学後に同級生となる高校生同士で情報交換を行い、お互いを知る環境も必要となる。入学前に情報交換を行うことで、入学後のコミュニケーションの手助けを行うことで「同じ新入生と仲良くなれるのか」といった不安減少に役立つ。また、同じ立場の人の悩みを聞くことでも不安や疑問の解消を行う。

2.2 本研究の目的

現在行われている不安や疑問の解消法としては、高校生から大学へ質問をメール・電話で行う方法がある。しかし、この方法は入学前のため質問を送りづらいという問題がある。また、現在所属している高等学校の教員に聞く、掲示板などに相談するなどの方法もあるが、正しい情報を得ることができない場合が多い。その他、オープンキャンパスや学校説明会といったイベントで正しい情報を聞くことができるが、参加できない高校生も存在する。

そこで、高校生の不安や疑問の解消を解消するために、新しく不安や疑問を解消ために必要な環境を構築することが必要となる。高校生と大学関係者間、高校生同士で情報交換を行う環境を作り、不安や疑問を解消することで、高校生は安心することができ、大学への興味を湧かせることができる。また、入学前に高校生同士でコミュニケーションをとることにより入学後のコミュニケーションの手助けとなる。これらのことにより入学までのモチベーションを維持させることが期待できる。

本研究では、SNS（Social Networking Service）を用いて情報交換を補助する環境を構築する。SNSを用い、本学合格者と本学関係者間、本学合格者同士で情報交換を行い、不安や疑問を取り除くことを目的とする。

第 3 章

SNS を用いた高校生と大学関係者の情報交換

3.1 SNS の利用

SNS とは、社会的ネットワークをインターネット上で構築する会員制のサービスのことであり、人間同士のコミュニケーションを補助する場である。SNS では、コミュニティで他人と意見交換することや、知人だけでなく他人の日記を読むなど、人間関係を広げるための様々な機能が用意されている。代表的な SNS として、日本国内では約 2000 万人（2008 年 12 月現在）が登録している「mixi」がある [1]。近年では大規模な SNS だけでなく、四国の大学関係者間によるコミュニケーションを支援する「さとあい」や、熊本県八千代市に關係のある人たちが集まり交流や情報発信を行う SNS である「ごろっとやっちろ」など学校や地域、企業内限定で活用されている SNS が増えてきている [2][3]。

高校生が大学生活を知る方法として、高等学校の教員に聞く、掲示板を見る方法がある。しかし、2.2 節で述べたように、質問に対する敷居の高さや情報の信頼性の問題がある。しかし、SNS は会員制であり、本学関係者と本学合格者のみを会員とすることで、実際に大学生活を過ごしている大学関係者から正しい情報を得られることが期待できる。また、SNS は様々な機能があることから、質問専用の環境も作ることができ、メールや電話では大袈裟に思える質問も、気軽に相談できる。このようなことから、不安や疑問を取り除く環境作りにおいて、SNS の利用が有効であると考えられる。

3.2 一般の SNS の機能

一般に使用されている SNS の多くは、友人や知人間のコミュニケーションを補助するだけでなく、同じ目的・趣味を持つ人物や「友人の友人」など自分とは直接関係の無い他人との繋がりを通じて新たな人間関係を築いてもらうことを目的としている。一般的な SNS には以下の機能がある。

- マイフレンド機能

自分の友人・知人や SNS で知り合った人同士で登録し合う

- コミュニティ機能

コミュニティに参加することで、同じ趣味を持った人などと情報交換や交流をすることができる。また、同じ趣味を持った人と知り合うこともできる

- 日記機能

自分の日記を指定した範囲内で公開する。また、友人の日記や公開されている他人の日記を読み、コメントを残すことにより、日記を書いた人物と情報交換や交流を行うこともできる

- メッセージ機能

同じ SNS に登録している人とメッセージ交換を行う。SNS では、相手のメールアドレスを知らなくてもメッセージ交換が行える

- あしあと機能

日記などへの訪問者履歴を表示する

- 紹介文機能

マイフレンドとなっている人の紹介をする

- レビュー機能

本や音楽に対して意見や感想を書き、公開することができる

- ランキング機能

訪問者数のランキングや、コミュニティ参加人数ランキングを表示する

3.3 本研究の SNS

また，参加者の関係において一般の SNS は，以下の 3 点が考えられる．

- 友人や知人の関係

SNS を使う前からすでに実際に会ったことがあるリアルな関係で，お互いの近況報告などに SNS を用いる

- 他人からリアルな関係へ

SNS を使う前は実際に会ったことの無い関係であったが，SNS を通じて知り合い，リアルな付き合いへ発展する

- SNS 内だけの関係

SNS を使う前から実際に会ったことの無い関係で，SNS を通じて知り合ったが，リアルな付き合いへ発展せず，そのまま SNS 内でのみコミュニケーションを行う

人間関係の例として，SNS を利用するまで他人同士であった参加者同士が，共通の音楽のコミュニティを通して知り合うことが考えられる．知り合った後は，その音楽のライブに一緒にいくことでリアルな付き合いへ発展したり，SNS 内でのみコミュニケーションで終わる場合もある．

3.3 本研究の SNS

本研究の SNS は，本学合格者同士や，本学在學生と本学合格者など，入学後にリアルな関係となることがわかっている者同士の情報交換のため，新たな人間関係の構築は目的としない．また，本研究の SNS では，特定の人のみで情報の共有を行うと，本学合格者の不安解消・入学後のコミュニケーションに差が出てしまうため，すべての情報を参加者全員に閲覧可能とする．そのため，自分の友人・知人や SNS で知り合った人同士で登録し合うマイフレンドの概念を用いない．同様の理由で，全参加者は初期状態からすべてのコミュニティに参加し，退会も行えないようにする．

第 4 章

SNS の設計

本章では，3.3 節で述べたことを考慮し，SNS の設計を行う．

4.1 システムに必要な機能

本研究では，本学合格者と大学関係者間，本学合格者間同士の情報交換を行う．情報交換の方法としては，参加者同士が双方向で情報を交換する方法と，一方的に情報を伝える場合がある．本研究では，参加者同士が双方向で情報を交換する方法としてコミュニティ機能とメッセージ機能を，一方的に情報を伝える場合では日記機能とアンケート機能が必要となる．

また，本研究に必要な機能は削除を行う．3.3 節で述べたように，特定の人のみで情報の共有を行う事態を避けるため，マイフレンド機能の改良を行い，招待時に全員とマイフレンド状態になるようにしている．これにより，本研究の SNS では表面上ではマイフレンドという概念を無くしている．また，紹介文機能は人間関係の構築のために使用されることが多く，本研究の目的とそぐわないので使用しない．

4.2 コミュニティ機能

コミュニティ機能は，本学合格者からの質問やそれに対する回答，本学関係者による大学生活・施設の紹介，本学合格者同士の雑談・相互理解などに使用する．一般の SNS では，コミュニティへの書き込みを行えるのはコミュニティ参加者のみで，更にコミュニティの最新情報もコミュニティ参加者にしか知らされない．しかし，3.3 節で述べたように本研究では

4.3 日記機能

すべての情報を参加者全員に閲覧可能とするため、コミュニティへの書き込みは参加者全員が可能であり、コミュニティの最新情報もすべての参加者に知らされる。

4.3 日記機能

日記機能は、本学関係者による大学生活・施設の紹介、本学合格者の自己紹介、本学合格者同士の雑談・相互理解などに使用する。一般の SNS では、日記の公開範囲を日記作成者が決めることができ、一部の人にしか見れないようにすることが可能である。また、マイフレンドになっている参加者の最新日記しか知らされない。しかし、コミュニティ機能と同じく 3.3 節で述べたように本研究ではすべての情報を参加者全員に閲覧可能とするため、日記の公開範囲は「全体公開」から変更することができないようにし、他参加者の最新日記もすべての参加者に通知される。

4.4 メッセージ機能

本学合格者からの質問では、他参加者に見られたくない質問を行いたい場合も想定される。その場合には他の参加者に閲覧されず 1 体 1 で情報交換を行うメッセージ機能を用いる。一般の SNS では、全員がメッセージの送受信を使用可能だが、本研究の SNS では本学合格者間のトラブル防止のため本学合格者同士は使用できないようにする。

4.5 アンケート機能

一般の SNS では、アンケートを用いない場合が多いが、本研究の SNS では新入生歓迎会で合格者の希望を汲み取るなど、アンケートを用いる場合が多いと想定されるためアンケート機能を作成する。

第 5 章

SNS の概要

本研究では、オープンソースの SNS エンジンである OpenPNE を改良して情報学群合格者用 SNS である「ちくとよってき」^{*1}を構築する。OpenPNE は、PHP、MySQL で実装されており、Web サーバである Apache 上で動作する [4]。

5.1 システムの構成

本研究で必要となる機能のうち、コミュニティ機能、メッセージ機能、日記機能は予め実装されており、それらを PHP、MySQL から改良することにより実装した。アンケート機能は OpenPNE で実装されていないため、PHP と MySQL を使い独自で実装を行った。また、4.1 節で述べたように、OpenPNE で予め実装されている機能のうち、マイフレンド機能、紹介文機能、レビュー機能など本研究の目的とは異なる役割を果たす機能は改良・削除した。

5.1.1 ホーム画面

本研究では、SNS のログイン画面で予め参加者に通達している account と password を入力し、ログインを行う。ログイン後は、ホーム画面が表示される。ホーム画面では、参加者の最新日記やコミュニティ最新書き込みが表示される。実際のホーム画面を図 5.1 に示す。

^{*1} URL(<http://sns.info.kochi-tech.ac.jp/>)

5.1 システムの構成

ちくとよってき
情報学群合格者用 SNS

メンバー検索 コミュニティ検索

マイホーム 日記検索 ランキング ログアウト

ホーム 日記 メッセージ あしあと お気に入り プロフィール確認 プロフィール変更

SEARCH

日記 コミュニティ メッセージ WEB

INFORMATION アンケートにご協力ください

文明開化

写真を編集
プロフィール確認

竹内 雄人[大学生さん]

アンケート

「ちくとよってき」で一番おもしろい機能はどれですか？

日記

コミュニティ

プロフィール

最新情報

メンバー
最新日記

- > 02月07日 ... ふんふん (5) ([大学生])
- > 02月07日 ... 炭城美♪ (5) ([合格者])
- > 02月07日 ... ロイド・アーヴィング (3) ([合格者])
- > 02月06日 ... 終わったあ〜 (3) ([合格者])
- > 02月06日 ... エネルギー源。 (7) ([合格者])

日記コメント
記入履歴

- > 02月07日 ... 炭城美♪ (5) ([合格者])
- > 02月07日 ... ふんふん (5) ([大学生])
- > 02月07日 ... ロイド・アーヴィング (3) ([合格者])
- > 02月07日 ... 終わったあ〜 (3) ([合格者])
- > 02月07日 ... エネルギー源。 (7) ([合格者])

コミュニティ
最新書き込み

- > 02月07日 ... 研究室紹介します (6) (大学生生活体験記)
- > 02月07日 ... 質問総合掲示板 (22) (質問コミュニティ)
- > 02月07日 ... 工科大お気に入りの場所 (7) (大学生生活体験記)
- > 02月07日 ... こんなアルバイトしてます (11) (大学生生活体験記)
- > 02月07日 ... お国自慢! (23) (雑談コミュニティ)

図 5.1 ホーム画面

5.1.2 日記画面

日記は、参加者全員が書くことができ、書かれた日記は全体に公開される。また、自由にコメントのやり取りをすることも可能である。実際の日記画面を図 5.2 に示す。

5.1 システムの構成

▶ **竹内 雄人[大学生]の日記** (全員に公開)

◀ 前の日記
次の日記 ▶

2009年 01月30日 23:51	<p>大学祭！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>今日は、毎年10月に行われる大学祭についてお話したいと思います。</p> <p>大学祭「Flying Fish Festival」では、各研究室を公開し、内容を知ってもらう「未来工房」クイズ大会、ビンゴ、Ms&Mr、吉本お笑いなどの「イベント」高知工科大チームが踊る「よさこい演舞」学生や一般の人が出店する「模擬店」「フリマ」その他「山田太鼓」「献血」「吹奏楽」「ロックライブ」などさまざまな催しが開催されます。</p> <p>目玉イベントは毎年行われる吉本お笑いライブ！昨年は博多華丸・大吉さんや若井おさむさんが招待されそれ以前にも麒麟、FUJIWARA、ロザン、原口あきまさなど有名な方が多く訪れています。今年も誰が参加するのでしょうか？</p> <p>また、ディズニーランドペアチケットが当たるビンゴも大いに盛り上がりました。</p> <p>ちなみにこのFlying Fish Festivalの企画・運用は、ほとんど学生のみで行われています。その企画・運用を行う大学祭実行委員会に私も所属していました。また次の機会にその活動を紹介したいと思います。それまで楽しみに。</p>
--------------------------	--

編集

▶ **コメント** 1番～4番を表示

2009年 01月31日 00:04 <input type="checkbox"/>	<p>1: [合格者]</p> <p>写真が非常に高画質ですね(特に1枚目) そしてwキャンパスがかなりきれいなんですねΣ(≧∩≦)； まだKUTIに行ったことがないのでありがたいです。</p>
2009年 01月31日 13:52 <input type="checkbox"/>	<p>2: [大学生]</p> <p>> さん 1枚目の写真はデジカメで撮影したものです。 SNSに載せるために圧縮したのですがそれでもきれいですね(=^_^=)</p>

図 5.2 日記画面

5.1.3 コミュニティ画面

コミュニティでは、参加者同士で交流や意見交換を行うことができる。実際のコミュニティ画面を図 5.3 に示す。

5.1 システムの構成

13:	[合格者] 削除
>	さん おそらく関西でも「えらいこっちゃ」って使う人いますよ 「おとろしい」という関西弁の意味は「恐ろしい」らしいのですが、奈良県で使うと「面倒くさい」という意味になります 「もぉー飯食うのもおとろしいわ」←みたいな使い方です。
14:	[合格者] 削除
	ちくとしてきはまんと何のことかわからなかった！笑
15:	[大学生] 削除
>	先生 どちらへか、徳島の代表する方便の一つですね。 ちなみに私の地方ではどちらいかったです。 あの言葉はお礼を言うのはどちらの方ですか？ という意味があって、「どちらですか」がなまったそうですね。 四国放送のニュース「おはよう徳島」で偶然見かけました(笑) > さん・さん えらいは結構使われてるんですね。 どこかしらおっさん臭い方便で私は気に入ってます。 >おとろしい 私も初め聞いたときは、その言葉を発した子を心配しました。 そんなにこわいんかと(笑)
16:	[大学生] 削除
>	さん おとろしいってめんどくさいって意味になるんですね！ 私も明日から使ってみます☆
17:	[合格者] 削除
	土佐弁(幡多弁も含む)で「壊れる」を「ちゃがまる」と言うのですが、 幼い頃、農作業中の父が 「耕運機がちゃがまった！」と叫んでいるのを聞いて、 「お茶がどうしたの？」と聞き返したことがあります。 もちろん「お茶」はまったく関係ないのですが(笑) あ、幡多弁というのは高知県西部で主に使われている方言です。

図 5.3 コミュニティ画面

第 6 章

運用する際の注意点

本研究の SNS は，高知工科大学情報学群の平成 21 年度推薦試験合格者に参加していた
だき，情報学群合格者用 SNS「ちくとよってき」を現在運用をしている．本章では，その運
用において「SNS を活発にする工夫」，「トラブル防止法」，「本研究の SNS の情報の正確性」
について述べる．

6.1 SNS を活発にする工夫

本研究の SNS を活発に利用してもらうために，

- 名前に所属を付属させる
- 日記作成方法
- コミュニティの種類
- 基本機能の使い方の作成

を行った．

6.1.1 名前に所属を付属させる

SNS 内で表示される名前（ニックネーム）に自動で所属（合格者，教員，職員，大学生）
が付属されるようにシステムの改良を行った．日記やコミュニティ書き込みが，どの所属に
属する人物が書いたのかを示すことにより，自分と相手の関係を明確にすることで交流しや
すくさせた．

6.1 SNS を活発にする工夫

例（竹内雄人 [大学生] 妻鳥貴彦 [教員] A さん [合格者]）

6.1.2 日記作成

本学大学生に、日記で大学生活紹介を書いてもらう際に、学年ごとにテーマを決めた。テーマ関係なく自分の書きたいように書いてもらう事を第一としているが、こういった内容を書きこめばいいかわからない大学生もいたため、テーマを作成した。テーマは以下の通りである。

- 大学院生
就職活動について、TA(Teaching Assistant) について、進学理由
- 学部 4 年生
卒業研究
- 学部 3 年生
講義・テスト内容について、就職活動について、研究室の様子

6.1.3 コミュニティの種類

質問コミュニティでは、質問を種類別にわけ、合格者が質問を行いやすいようにした。また、質問コミュニティや大学紹介コミュニティなど大学に関するだけでなく、雑談用コミュニティを作成し、気軽に書き込みやすい環境を構築した。作成したコミュニティは、以下の通りである。

- 質問コミュニティ
総合質問掲示板、学習に関する質問、ドミトリー（寮）に関する質問
サークルやアルバイトに関する質問 など
- 大学生活体験記
講義紹介掲示板、研究室紹介します、工科大お気に入りの場所
講義・テスト・勉強法、サークル活動 など

6.1 SNS を活発にする工夫

- 雑談コミュニティ

お国自慢，こんな方言ありますよ，大学&お気に入り風景，総合雑談掲示板

好きな音楽について話し合おう！ など

- 新入生歓迎会

詳細お知らせ，アイデア募集

- ちくとよってき総合コミュニティ

ちくとよってき最新情報，こんなコミュニティが欲しい，書き込み練習用掲示板

6.1.4 基本機能の使い方

本研究の SNS では，SNS を使用したことが無い本学合格者がいることが想定されるため，基本機能の使い方を作成した．作成したのは，「プロフィールと写真の変更」「日記を書く、編集する」「日記を読む、コメントをする」「コミュニティ（掲示板）を見る、書き込む」の 4 つのページである．「プロフィールと写真の変更」の一部を図 5.3 に示す．

6.2 トラブル防止

プロフィール変更画面でプロフィールの入力を行います。

メンバー検索 コミュニティ検索 マイホーム 日記検索 ランキング 設定変更 ログアウト

ホーム 日記 メッセージ あしあと お気に入り プロフィール確認 プロフィール変更

プロフィール変更 (※の項目は必須です)

ニックネーム ※	情報 太郎
誕生日 ※	12 月 20 日 全員に公開
所属	新入生 ※所属は変更できません
趣味	スポーツ、映画鑑賞
出身地	神奈川県 全員に公開
自己紹介	皆さん初めまして！！情報太郎と言います。 神奈川県で生まれて神奈川県で育ちました。 神奈川県は素晴らしい場所、素晴らしいものがたくさんあります。皆さんに少しずつ紹介していく予定なのでよろしくお願ひします！ 趣味はスポーツで、小中高では野球部に所属していました。大学でも野球部に入

確認画面

(注)ニックネームの欄は本名でもハンドルネームでもどちらでもかまいません。

プロフィールの入力が終われば「確認画面」をクリックしてください。

確認画面では入力したプロフィールが表示されます。

表示された内容でよければ「確定」をクリックすればプロフィール変更は完了です。

修正したければ「修正」をクリックすればもう一度プロフィール変更画面にアクセスします。

写真の変更

トップページの「写真の変更」をクリックし、写真の変更画面にアクセスします。

図 6.1 プロフィールと写真の変更

6.2 トラブル防止

トラブルを防止するために、本研究の SNS では、「利用規約」「プライバシーポリシー」「トラブル対処法」を作成し、本研究の SNS にリンクさせている。

6.3 本研究の SNS の情報の正確性

本研究の SNS に書き込みに対してのチェックとして、毎日 2 回の定期チェック（0 時、12 時）を行った。また、本学大学生にはトラブルになりそうな書き込みを発見した場合、即座に管理人に連絡するよう事前に通達を行った。以上の書き込みに対するチェックから、「利用規約」に反する書き込みを発見した場合には、書き込み者へ削除要請を行う。

6.3 本研究の SNS の情報の正確性

本研究の SNS では、高知工科大学の情報において実際に高知工科大学で生活を送っている本学関係者が書きこんでいるため、正確性が高いと言える。しかし、中には間違った情報が書き込まれる可能性があるため、6.2 節に書かれた毎日 2 回の定期チェックでは、本学合格者の書き込みだけでなく本学関係者の書き込みもチェックを行っている。そこで正確性が疑わしい情報においては教員などよく詳しい情報を持つと思われる人物に問い合わせをし、修正・削除あるいはより正しい情報の書き込みを行う。

また、今現在の状況と、本学合格者が入学して数年後の状況が変更する場合がある。例えば、情報システム工学科（本年 4 月より情報学群）で習うプログラミング言語は年によって変更される場合がある。そのような場合は、入学後は変更になる場合があるということを書き込むようにする。

第 7 章

評価

本研究の SNS は、現在実運用を行っている。本章では、3 月 4 日までの運用データを分析することにより評価を行った。

7.1 評価目的と評価環境

評価の目的は、不安や疑問を取り除くために必要な環境作りができたかを調査する。これにより、本研究の SNS が本学合格者の不安解消に繋がったかを確認する。

評価対象者とその人数は、以下の通りである。

- 本学合格者

高知工科大学情報学群の平成 21 年度推薦試験合格者 83 名

- 本学教職員

現在高知工科大学工学部情報システム工学科に所属する教員 16 名

現在高知工科大学に所属する教員 6 名

- 本学大学生

現在高知工科大学工学部情報システム工学科に所属する 3 年生以上 26 名

評価期間は 1 月 24 日～3 月 4 日の 40 日間である。

7.2 評価項目

評価項目は、以下の通りである。

7.3 利用状況の分析

- 利用状況の分析

参加者の利用人数や書き込み件数から利用の傾向を評価する

- 大学関係者への質問

本件研究に寄せられた質問と，事務局に寄せられた質問の比較を行い，質問の傾向から本研究への質問の行いやすさを評価する

- 大学関係者の大学生活体験に対する合格者の反応

大学関係者の大学生活体験に対する合格者の反応を調査し，本学合格者にとって大学生活を知る手助けとなったのかを評価する

- 合格者同士での意見交換の状態

合格者同士での意見交換を調べ，コミュニケーションの活発さを評価する

7.3 利用状況の分析

7.3.1 利用状況

本研究の SNS の利用人数は以下の表の通りである。

表 7.1 利用人数

	招待人数	ログイン人数	一日平均ログイン人数
本学合格者	83 名	38 名	13 名
本学関係者	48 名	37 名	16 名

また，本研究の SNS の利用状況は以下の表の通りである。

表 7.2 利用状況

	日記作成	日記コメント	コミュニティ書き込み	質問数
本学合格者	135 件	363 件	90 件	31 件
本学関係者	143 件	941 件	284 件	

7.4 大学関係者への質問

7.3.2 利用状況の考察

合格者の利用状況において、日記作成件数よりも他参加者への日記コメントの件数が多い事がわかる。これにより、同じ合格者の日記や大学生の大学体験に興味を持っていると考えられる。また、コミュニティでは本学合格者による質問以外の書き込みも多く見られ、お互いを知るきっかけとなったと考えられる。

7.4 大学関係者への質問

7.4.1 本研究の SNS へ寄せられた質問

本研究の SNS への本学合格者からの質問は、コミュニティへ合計 31 件寄せられた。具体的には以下のような質問が寄せられた。

- 学習に関すること 13 件

パソコン初心者でも大丈夫か、大学で習うプログラミング言語について

大学（情報学群）でよく使う数学の分野は など

- 寮生活に関すること 9 件

寮生の普段の食事について、飲料水について など

- 生活に関すること 5 件

アルバイトについて など

- サークルに関すること 5 件

7.4.2 事務局に寄せられた質問

事務局へメールで寄せられた質問は、1 月 1 日～2 月 12 日の 43 日間で 65 件である。具体的には以下のような質問が寄せられた。

- 入試に関すること 41 件

7.4 大学関係者への質問

複数出願について，合否判定について など

- 公立大学法人化に関すること 8件

授業料について など

- 学習に関すること 8件

大学院進学率について，入学までの学習について，就職について など

- 寮生活に関すること 3件

入寮日について，入寮申込み期間について

- 生活に関すること 5件

通学方法について，服装についての学則について など

7.4.3 本研究の SNS への質問と事務局への質問の比較

ここでは，期間・質問者・質問総数の比較と，入試関連に関する質問・大学生活に関する質問の比較を行う。

表 7.3 期間・質問者・質問総数の比較

	期間	質問者	質問総数
本研究の SNS への質問	40 日間	情報学群合格者 83 名	31 件
事務局への質問	43 日間	全学科，受験者・合格者問わず	65 件

表 7.4 入試関連に関する質問の比較

	入試関連	公立化関連	総数
本研究の SNS への質問	0 件	0 件	0 件
事務局への質問	41 件	8 件	49 件

7.4 大学関係者への質問

表 7.5 大学生生活に関する質問の比較

	学習関連	寮関連	生活関連	サークル関連	総数
本研究の SNS への質問	13 件	9 件	5 件	5 件	31 件
事務局への質問	8 件	3 件	5 件	0 件	16 件

入試関連に関する質問が、本研究の SNS へ質問 0 件に対して、事務局への質問は 41 件に行われている。本研究の SNS は本学合格者を対象としているため、入試関連の質問 0 件は当然であるが、事務局への質問は約 1 日 1 件と非常に多く質問が寄せられている。この質問には、保護者からの質問も多いことが予想される。つまり、保護者の方々も不安や疑問を持っており、今後の SNS への対象者に保護者も含むことも重要と考えられる。

また、学習に関する質問と寮生活に関する質問において、入学前に関する質問・入学後に関する質問・卒業後に関する質問での比較を行う。

表 7.6 学習に関する質問

	入学前に関する質問	入学後に関する質問	卒業後に関する質問
本研究の SNS への質問	1 件	11 件	1 件
事務局への質問	2 件	3 件	2 件

表 7.7 寮生活に関する質問

	入学前に関する質問	入学後に関する質問	卒業後に関する質問
本研究の SNS への質問	1 件	8 件	0 件
事務局への質問	3 件	0 件	0 件

学習に関する質問と寮生活に関する質問に関して、本研究の SNS への質問は、事務局への質問に比べて入学後に関する質問が多く寄せられている。このことから、本研究の SNS

7.5 大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応

は実際に生活を送っている大学関係者に対して大学入学後の生活に関する質問を行いやすいと考えられる。

7.5 大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応

7.5.1 合格者の反応

今回は、本学大学生が書いた日記の一部とそれに対する本学合格者の反応を抜粋する。日記の内容は、高知工科大学情報システム工学科のテストの概要を紹介したものである。実際に本研究の SNS に書き込まれた日記とその日記へのコメントを、それぞれ図 7.1 と図 7.2 に示す。

7.5 大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応

[大学生]さんの日記		(全員に公開)
前の日記 次の日記		
2009年 01月28日 22:24	<p>工科大のテスト</p> <p>最近、新入生は試験モードが多いみたいなので、工科大のテストの様子を書こうかなあとと思います。</p> <p>-----</p> <p>様子その1 : テストは1か月おき👉</p> <p>-----</p> <p>えええ?! そんな頻繁に?! ち</p> <p>と思う方もいらっしゃるかと思います。かくいう私がそうでした。</p> <p>でもこれには利点があるんです!</p> <p>覚える、理解する範囲が少ない!</p> <p>最近やったことがそのまま出る!</p> <p>高校から移ったら、それはそれでこの喜びがちょっと分かると思いますが、大学に入って他の大学の方の試験の様子を聞いたらこの喜びがもっとわかります。工科大に入って良かったと思う瞬間です👍</p> <p>これが工科大のテストの様子1。</p> <p>-----</p> <p>様子その2 : 持ち込み可👉</p> <p>-----</p> <p>なんと教科によっては、教科書やらノートやらを持ち込み可なのです! 高校までは考えられなかったですよ! ただし持ち込みOKですと言われない限りは持ち込みじゃだめですよ! 涙</p> <p>-----</p> <p>様子その3 : 成績評価はテストだけではない! 📄</p> <p>-----</p> <p>大学に入れば、テストだけではなく、レポート</p> <p>というものも入ってきます。</p> <p>A41枚に〇〇について考えたことをまとめなさい。とか。</p> <p>レポートに書いた内容がテストの代わりに成績評価に反映されます。</p> <p>しかもここで身につけた文章力、文章構成力は、そのまま社会に出た時に役立ちます!</p> <p>社会に出たらテストよりもむしろ、こういうレポートが増えますからね👍</p> <p>-----</p> <p>以上が工科大のテストの様子でした。</p> <p>みなさんのためになるかはわかりませんが、ああ、そんな感じなんだあ。</p> <p>と書いていただければ幸いです🌹</p>	

図 7.1 本学大学生による日記

7.5 大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応

コメント		1番～5番を表示
2009年 01月28日 22:33	1: <u> </u> [合格者] こういう内部情報は非常にありがたいです、(^_^)ノ 1ヶ月おきにテストがあるとは… 教科書持ち込み可能… びっくりです。。	Aさん
2009年 01月28日 22:48	2: <u>竹内 雄人</u> [大学生] 削除 詳しい説明ありがとうございますo(^-^o >なんと教科によっては、教科書やらノートやらを持ち込み可なのです！ これは嬉しいですね♪ ノートをとる甲斐があります。 でも、先生によっては「教科書やノートを持ち込まないと解けないレベルを出す」って いうメッセージでもありますよね。 怖いです(笑)	
2009年 01月28日 23:58	3: <u> </u> [合格者] テストが1ヶ月おきですとっ！？ とても不安ですが範囲が狭い分期待できるかも… 不安と期待がせめぎあってますwww	Bさん
2009年 01月29日 01:14	4: <u> </u> [合格者] なるほど。 これで勉強面での不安が少し晴れました。 定期的にテストがあるっていうのがみそですねえ。 >>教科書やノートを持ち込まないと解けないレベルを出すっていうメッセージでもあ りますよね。 これはちょっと怖いですねw 他の人に後れをとらないように勉強もしっかりしないとなあ…。	Cさん
2009年 01月30日 14:33	5: <u> </u> [大学生] コメントが遅くなって済みません↓ 風邪でダウンしてました。 > <u> </u> さん 喜んでいただけたならうれしいです(^_^)	

図 7.2 本学合格者による日記コメント

7.5.2 大学関係者の大学生生活体験に対する合格者の反応の考察

本学大学生によるテストの概要紹介に合格者（A，B，Cさん）から「勉強面での不安が少し晴れました」などの反応が見られた。この他にも、大学の風景紹介などに合格者の反応が見られ、高知工科大学での大学生活を知る手助けとなったのではないかと考えられる。

7.6 合格者同士での意見交換の状態

7.6 合格者同士での意見交換の状態

7.6.1 合格者同士の交流

今回は、合格者同士の日記コメントでの交流の一部を抜粋する。実際に本研究の SNS に日記での交流を図 7.3 と図 7.4 に示す。今回の例では、5 名の合格者 (D, E, F, G, H さん) が意見交換を行っている。

2009年 01月27日 12:44	2: 【合格者】 私も自作パソコン憧れます！ Eさん！私もgatewayのパソコンを使ってました。 頑張ってた貯めた小遣いで初めて買ったパソコンだったのですが、3年ほどで壊れました。今でも泣きそうです	Dさん
2009年 01月27日 16:35	3: 【合格者】 確かに、ノートじゃ荷が重いですよ もう少ししたら、ある程度パーツの値段が下がると思いますよ 多分、i7が出たんでCORE2QuadのCPUなどが下がるかな(笑) > さん 買うならデスクトップのほうがもつと思いますよ 私はメーカー製のPCがいやだったので自作のにしましたが 見た目が真っ黒です(笑)、後大きいですねサイズが > さん	Eさん
2009年 01月27日 17:43	4: 【合格者】 いいですね！ 俺も自作には大変興味があります！ 自分はgateway製ノート(今は統合されてAcerかな?) ってCPUは「celeron」ですよwww\(^o^)/ HDとか60GBしかねえw メモリ512MB XP 2Tって500Gぐらい分けてくれOTL 良かったら自作の時に協力してくださいw OS所持してるのにメーカーで買うのがもったいない気がします… 後、いらぬソフトが多すぎるwww	Fさん
2009年 01月27日 18:05	5: 【合格者】 60GBはきついですね ネットでいろいろやってる私だったら(苦笑) OSの方はLinuxを入れたいんですが持ってなくて 仕方なくXPとVistaで我慢しています 学校用のデータはVistaに プライベートはXPに分けています。 メモリは8Gですね64ビット番のOSをひとつ入れてるので 自作のとき協力できるかわかりませんよ 半分以上勘でしたし(笑) そんなのでもよければ協力します(笑)	Eさん

図 7.3 合格者同士の交流 1

7.6 合格者同士での意見交換の状態

2009年 01月27日 18:38	6: [合格者] 自分も自作に挑戦しようとしてます！ パーツ集めにアキバに行ったのですが、数が多すぎてガンブラだけ買っしつつか いましたよ* みんなの知識使って、PC作りませんか！？	Gさん
2009年 01月27日 19:32	7: [合格者] ガンブラって(苦笑) 私はネット販売で決めていたパーツを 買っただけでしたので、特に迷いませんでしたね。 知識というより、雑誌に書いてあったのに 自分が使うということから、カスタムしたものですから 知識あるかな？(苦笑) > さん	Eさん
2009年 01月27日 20:46	8: [合格者] 俺もいろいろやってるんで(苦笑)容量が満タンになったらDVDに焼い す…。*(´Д`*) 現在残り容量1.2GBです\(^o^)/ 500GBも1万切る時代ですから…買えよって話なんですwww Linuxって確か無料で公開されてませんでしたか？ メモリ8Gってwww 確かXPで使用できるのが3Gか4Gまででしたよねw ってことは残り4Gは一時記憶利用？ ニコ動の「自作PC支援」見たらなんとかなりますよ…(笑)きっと	Fさん
2009年 01月27日 21:04	9: [合格者] 確かに、それは買うべきかと(苦笑) かったるいですね、そこまでいくのが(笑) 64ビット版のほうのでしか残りの4Gは使いませんね(笑) はっきり言って無駄(苦笑) きっとって(苦笑) >	Eさん
2009年 01月28日 11:17	10: [合格者] わざわざコメントありがとうございます。	Hさん

図 7.4 合格者同士の交流 2

7.6.2 合格者同士での意見交換の状態の考察

合格者同士で、入学後に新入生の知識を持ち合い自作でPCを作ろうという意見交換が見られた。この他にも、趣味の話や高等学校卒業試験の話などで意見を交換する場面が見られ、本研究のSNS内でのコミュニケーションが入学後のコミュニケーションへと発展する

7.7 評価のまとめ

ことが期待できる。

7.7 評価のまとめ

不安や疑問を解消するために必要な環境が構築できたと考えられる。特に大学関係者への質問より、本研究の SNS は実際に生活を送っている大学関係者に対して大学入学後の生活に関する質問を行いやすいことが確認され、入学前のためメールや電話では質問を行わずらいと考えられる高校生が、気軽に大学生活を知ることができたと考えられる。

しかし、不安や疑問が解消されたことが入学後にどう影響するかや、本研究の SNS 内のコミュニケーションが入学後のコミュニケーションへと発展するかどうかは入学前の現時点ではまだ確認することができない。そこで、入学後に新入生に対してアンケートなどの追跡調査を行う予定である。

第 8 章

おわりに

本研究では、高校生には大学生活への不安や疑問を抱えていることに着目し、不安や疑問を解消するために必要な環境を構築した。不安や疑問を解消するために必要な環境作りのために、誰が書き込んだかを知ることができることから、正しい情報交換をすることができる SNS を用いたシステムを構築した。実装は、オープンソースの SNS エンジンである OpenPNE を改良した。評価より、大学生生活に関する質問や高校生同士の交流が見られ、不安や疑問を解消するために必要な環境が構築できたという結果が得られた。

今後の展開として、4 月以降に新入生に対してアンケートを行う予定である。また、センター試験合格者と一般入試の合格者も本研究の SNS に招待し、今後も運用を続ける予定である。また、4 月以降のアンケートなどから本研究の SNS が高校生の不安や疑問の解消に有効と認められれば、来年度以降は大学全体や保護者なども招待し運用を検討する。

謝辞

本研究に参加して頂いた本学合格者の皆様，並びに本学教職員と本学合格者の皆様には心より御礼申し上げます．

本研究の全てにおいて，多大なるご指導を賜りました高知工科大学情報システム工学科妻鳥貴彦先生に心より御礼申し上げます．

ご多忙な中，本研究の副査をお引き受け頂き適切なお助言，ご指導頂いた同学科岩田誠先生に心から感謝致します．同様に，ご多忙な中，本研究の副査をお引き受け頂き適切なお助言，ご指導頂いた同学科福本昌弘先生に心から感謝致します．

本研究について数々の実装や論文等のご助言をしていただいた同研究室修士 2 年寒川剛志氏に心から感謝致します．昨年度の研究活動において多大な功績を残して頂いた，高知工科大学 8 期生の橋田味加子氏に心から感謝致します．本研究において実装のご助言をしていただいた同研究室学部 4 年清水雅也氏に心から感謝致します．本研究においてバナーやヘッダー等画像の作成でご協力いただいた同研究室学部 3 年濱野純平氏，松本直樹氏には心より感謝致します．

本研究において様々なお助言，ご指導をいただきました同研究室修士 2 年大黒隆弘氏，西山太彩氏，修士 1 年畠山博和氏，福田将行氏，藤原健太郎氏，山崎雄大氏には心より感謝致します．辛い時期を励まし合い一緒に乗り越えた同研究室学部 4 年池田真実氏，西川貴仁，浜田洋氏，別府瞳氏，森拓也氏には心より感謝致します．本研究の SNS へ活発に書き込んでくれた同研究室学部 3 年中澤大樹氏，細川恭平氏，前田晃宏氏，松井勇貴氏，には心より感謝致します．

最後に，本研究に参加して頂いた本学合格者の皆様，並びに本学教職員と本学合格者の皆様には重ね重ね心より御礼申し上げます．私の心は今，皆様への感謝と感動で満たされています．本当にありがとうございました．

参考文献

- [1] ”mixi”, mixi Inc . , <http://mixi.co.jp/>.
- [2] ”キャンパス SNS「さとあい」”, 四国キャンパス SNS 協議会,
https://sns.ait230.tokushima-u.ac.jp/?m=pc&=page_o_login&ssl_param=1.
- [3] ”ごろっとやっちろ”, 熊本県八代市, <http://www.gorotto.com/>.
- [4] ”OpenPNE”, Tejimaya Inc., <http://www.openpne.jp/>.